ともに学び ともに育つ

コミュニティ・スクール

甲斐市立双葉西小学校

〈学校紹介〉

本校は、文部科学省の指定研究による２年間の準備期間を経て、平成 24 年４月、甲斐市教育委員会の指定を受けて、山梨県下初の「コミュニティ・スクール」となった。

本校が位置する双葉地区は、古くから教育熱心で学校教育に協力的な土地柄で知られているが、私たちは、このような地域と学校の実態に即した「双葉西小学校らしいコミュニティ・スクール」の構築を目指し協議や活動を進めてきた。そして、学校で行われる様々な活動に地域住民が参加することで、学校と地域住民との相互理解が自然に生まれ、活動しながら学校長が目指す教育方針を認め、活動の中の話題の一つとして教職員のありかたについて語られる・・・このような学校への支援活動主体のボトムアップ型のコミュニティ・スクールが出来上がった。支援活動の中心は、学校支援ボランティアを組織化した学校応援団である。学校運営協議会で協議された方向性は、学校応援団の方々や教職員等による熟議を通して具体的な活動にしていくが、学校応援団の代表が学校運営協議会の一員であるため、学校運営協議会での話し合いが形骸化することはない。本校の学校運営協議会と学校応援団は、いわば車の両輪のように連動しながら学校を支え、力強く後押しする存在となっている。

学校運営協議会は，第三者的なチェック機関ではない。学校や子供たちの実態，ＣＳの成果や課題等を共有し，課題の解決と子供たちのより良い成長のために，ともに汗を流しながら活動する学校の良きパートナーである。

〈実践事例〉

学習支援部会

ミシンの学習サポート

地域学習の講師

ママの会

読み聞かせ

おやじの会

プール清掃

体験活動支援部会

稲刈り・脱穀

安全支援部会

交通安全教室

子育て支援部会

授業参観時の未満児保育

広報部会

ＨＰのブログ

学運協だより

環境整備支援部会

緑のカーテン棚設置

・ＣＳは，子供たちの豊かな学びを実現するうえで有益な仕組みである。

・ＣＳは，地域住民にとっても絆を深めたり，生きがいを得られたりする場となっている。

・地域人材の継続的確保などの課題を解決するための持続可能な仕組みづくり，子供たちの義務教育９年間を支える体制づくりという観点から，中学校区を対象としたＣＳは有効であり目指すべき方向であると考える。